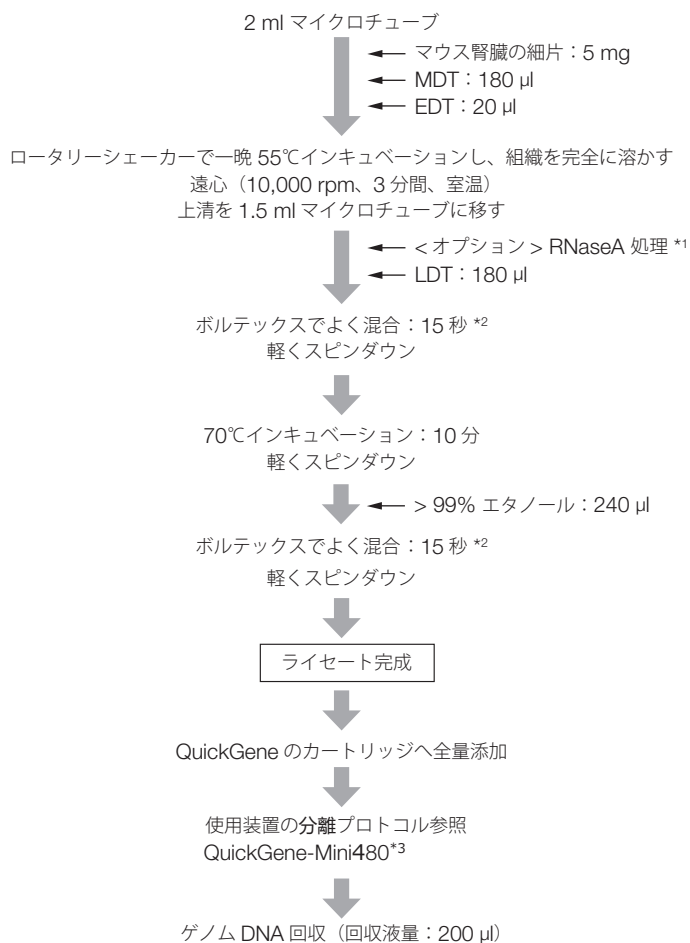


DA-b-3

# マウス腎臓からのゲノムDNA分離

## プロトコル



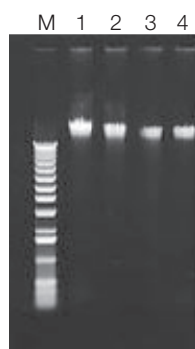
\*1 オプションステップ  
RNaseA：20 µl  
チューブを叩いて溶液を混合  
軽くスピンドウン  
室温で 2 分間放置

\*2 ボルテックス (最大回転数) で完全  
に混合してください。  
ボルテックスで混合不十分なら  
は、タッピング、ピペッティング  
または転倒を使用してください。

\*3 本事例は旧機種で取得したデータも  
含まれます。  
その他 QuickGene シリーズでも  
このプロトコルをご参考頂けます。

## 結果

### マウス組織からの分離ゲノム DNA のアガロースゲル電気泳動 (AGE)



M：サイズマーカー  
1：肺組織サンプル  
2：腎臓組織サンプル  
3：尾組織サンプル  
4：肝臓組織サンプル

#### 電気泳動図

データなし

#### ゲノム DNA の収量

データなし

#### タンパク質の混入：A260/280

データなし

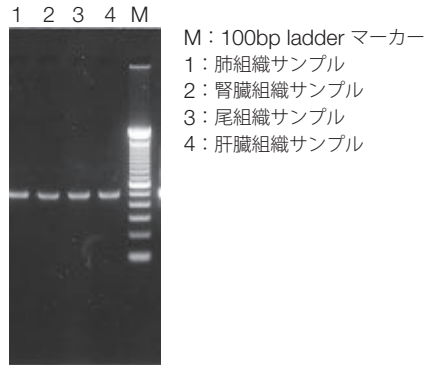
## ■ カオトロピック塩の混入：A260/230

データなし

## ■ その他

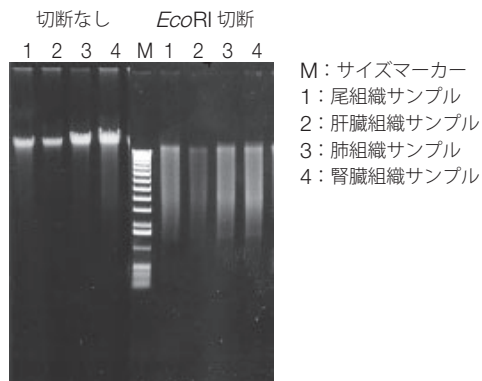
### ● PCR

QuickGene 分離システムと試薬を用いてマウス組織から分離されたゲノム DNA で増幅された *G3PDH* PCR 断片のアガロースゲル電気泳動 (AGE)



### ● 制限酵素切断

QuickGene 分離システムと試薬を用いてマウス組織から分離されたゲノム DNA での *EcoRI* 制限酵素切断断片のアガロースゲル電気泳動 (AGE)



## ■ 共通プロトコルサンプル

マウス肺、マウス肝臓